

# あがつま



『わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。

わたしを離れては、あなたがたは何もできないからである。』

(ヨハネによる福音書15章5節)

## ♪ 讃美歌を歌おう②④

『丘のうえに十字架たつ』

讃美歌第二編 182番)

この歌は、20世紀初頭の大衆的讃美歌で、それ以降アメリカ人の愛唱讃美歌となっっています。

作者はジョージ・ベナー(1873-1958)です。彼はアメリカ中西部に生まれ、少年時代に伝道者になる決心をしました。十六歳の時に炭鉱夫であった父を落盤事故で失い、家計を支えるために学業を諦めました。二四歳で救世軍士官(伝道者)となり、数年後メソジスト教会に移り、アメリカとカナダに広く伝道しました。彼の歌は三百編以上の作品がありますが、今日歌われているのはこの讃美歌だけです。

作者の手記によれば、彼がキリストの十字架の本当の意味を知りたいと熱心に祈る中で、歌詞と曲の最初の部分と一緒に浮かんできたといいます。その後の伝道旅行で全米を歩いていて、少しずつこの歌は出来上がっていったようです。そのためか、この讃美歌の誕生の地は、全米に三か所もあり、それぞれの地に記念館や碑などが建てられていて、そうです。

三節の「荒削りの十字架」というモチーフには、「主の十字架が、アクセサリーの十字架のように、なめらかな出来事ではなく、触れればささくれが刺さり、痛みを覚えるような出来事だ」というメッセージを感じます。

稲垣真実)